



全道大会で快勝！

日高バドミントン少年団 溝尾花奈さんが全国へ！

8月3日、6月に苫小牧市で開催された第17回全国小学生ABCバドミントン大会南北海道予選会で、他を寄せつけない強さで優勝した日高バドミントン少年団の溝尾花奈さん(日高小学校2年)が教育委員会を訪れ、全道大会の結果を報告されました。

同月、埼玉県で行われる全国大会では「全道大会でも楽しみながらプレーできたので、全国大会でも楽しみながら1つでも多く勝ちたい」と健闘を宣誓されました。



ナイター野球・ロマネコンテ杯

おちゃっぴ〜ず三冠達成！！

7月21日～8月2日にかけてロマネコンテ協賛のナイター野球が町営富川球場で開催されました。

9チームが参加した今大会も、熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、おちゃっぴ〜ずとドルフィンズの対戦となり、両者譲らぬまま1-1で終盤戦を迎えましたが、最終的には打線をつなげたおちゃっぴ〜ずが6-2で制し、5月の教育長杯、6月の日高乳業杯に続き優勝し見事三冠を達成しました。

平成28年度日高町巡回児童相談について

- (1) 日 程
- ・平成28年11月1日(火) 午前10時30分～午後5時
 - ・平成28年11月2日(水) 午前10時30分～午後5時
- (2) 場 所
- 申し込み状況によって、次のいずれかの会場で実施します。
- ・門別地区～門別公民館
 - ・富川地区～富川公会堂
 - ・日高地区～日高町民センター
- (3) 相談担当者
- 室蘭児童相談所 児童福祉司 判定員
- (4) 相談内容
- ・療育手帳の再判定
 - ・しつけ相談
 - ・言葉の障がい、身体障がい等
 - ・学校に行きたがらない
 - ・その他、子どものことで困っていること
- (5) 申込先
- 日高町役場 子育て福祉課 子育て支援グループ TEL 01456-2-6183
 日高総合支所 地域住民課 福祉・保険グループ TEL 01457-6-3173

相談を希望される方は、10月5日(水)までに電話にてお申し込みください。相談は無料です。

なお、相談をお受けする方は、児童相談所がお子さんの状況を判断し決定しますので、必要性の高い方を優先させていただくことがあります。また、ご希望の日程から調整させていただく場合もありますのであらかじめご了承ください。

※療育手帳をお持ちの方で再判定の時期が近い方は、相談を受けることをお勧めします。

※今後の巡回児童相談の実施予定日

・平成29年2月7日(火)、8日(水)



◎日高町役場健康増進課
TEL 01456-2-6571
◎日高総合支所地域住民課
TEL 01457-6-3173

「がん」を防ごう

「がんから大切な命を守りたい」

日本人の死亡原因のうち、最も多い病気はがんです。今年、厚生労働省から発表された2015年人口動態統計によると、昨年1年間にがんで亡くなった人は約37万人（前年比約2000人増）にのぼり、全死者のおよそ3.5人に1人ががんで亡くなっていることがわかりました。

がんによる死亡を防ぐには、がんにかからないようにすることが重要です。

がんの原因は、感染症のほか、喫煙や食生活、運動不足等の生活習慣であることが多く、これらに気をつけて発がんリスクを下げる必要があります。

しかし、がんにかかるリスクをゼロにすることはできません。

「がんは早期発見、早期治療が大切」と言われています。そこで重要になるのが「がん検診」の受診です。

「がん検診、もう行った？」
大切な人に声をかけてあげて。

この見出しは、今年、乳がん月間に開催されるイベントのキャッチコピーです。がん検診の対象となる方は、がん検診にもう行きましたか？

現在、医学の進歩によって、がんを早期発見し治療することで約50%の方が治る時代になりました。一方で、日本のがん検診の受診率といえ、30%台と先進国の中でも低く、日高町も各検診率をみると20%30%台と低い状況です。自覚症状がでてからでは手遅れになるがんがあります。40歳を過ぎたら（子宮頸がんは20歳から）定期的ながん検診を受診し、習慣にしましょう。

以降は、国で勧める「がん検診『肺・大腸・胃・乳・子宮がん』」の内容や検査方法を紹介します。

40歳(子宮頸がんは20歳)が検診デビュー!!



肺がん検診

がん死亡率第1位。喫煙との関係が深い事が科学的に証明されています。喫煙者が肺がんになる確率は、非喫煙者の4〜5倍。予防には禁煙です！

【検査方法】

胸全体をエックス線で撮影。必要により喀痰検査を実施します。痰をとり、そこに混入するがん細胞の有無を調べます。

【対象】 40歳以上

【料金】 500円（喀痰900円）

大腸がん検診

死亡率は肺がんに次ぐ第2位。食生活の欧米化にともない、患者数は増え続けています。早期に発見すれば、ほぼ完全に治すことができます。

【検査方法】

便潜血（せんけつ）検査で便を2日分とり、出血の有無を調べます。大腸がんでは便に血液が混ざる症状がでます。痔と勘違いしやすいため注意が必要です。

【対象】 40歳以上

【料金】 800円

胃がん検診

日本人に多いがんで、死亡率は大腸がんが続いて第3位。早期の段階で発見すると、ほぼ100%治りますが、進行してみつかると治療が難しくなります。

【検査方法】

胃エックス線検査で、バリウム（造影剤）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、エックス線で胃の形や粘膜を観察。胃がん以外に良性の腫瘍やポリープも発見できます。市町村によっては、内視鏡検査も加わりました。

【対象】 40歳以上

【料金】 1,600円

乳がん検診

女性の20人に1人は発症。30代から増え始め50歳前後の発見が多いです。早期に発見すれば治りやすいですが、再発のリスクがあるため、定期検査が重要です。

【検査方法】

乳房エックス線撮影（マンモグラフィ）で、乳房をはさんで写真を撮ります。

【対象】 40歳以上で昨年度受診していない方。検診間隔は2年に1回。

【料金】 50歳未満2,000円

50歳以上1,700円

子宮がん検診

がんのできる部位によって子宮頸がんと子宮体がんに分かれます。20〜30代に増えていきます。HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染に関係が深いです。

【検査方法】

視触診、子宮頸部（体部）の粘膜をとり、がん細胞の有無を調べます。

【対象】 20歳以上で昨年度受診していない方。検診間隔は2年に1回。

【料金】 頸部1,600円

体部 700円

今後の検診予定

詳しくは、次のページと来月発行される広報日高10月号をご覧ください。